

としょかん だより

2024.10 No.200

創刊

200号

ありがとうございます

長崎市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1

TEL 095-829-4946 FAX 095-829-4948

ホームページ <https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>



ホームページスマホ版



長崎市電子図書館

Topic

■ としょかんだよりは創刊から200号を迎えました

2008年の創刊から毎月1回発行してきた広報紙「としょかんだより」は今号で200号を迎えました。これからも図書館の情報を皆さまにお届けするため、よりよい広報紙をめざしていきます。これを記念して、過去にとしょかんだよりで紹介した本の展示や、図書館運営を振り返る展示を1階と2階で行っています。

Information

図書展示

- 1階特集展示 味覚の秋！（10/2～10/30）
- 1階特別展示 としょかんだより200号記念展示（10/2～）
- 2階特集展示 祭り！大集合（10/2～10/30）
- 2階特別展示 としょかんだより200号記念展示（10/2～）
 - 「平和な未来へ2024」平和の文化キャンペーン連動展示（10/10～）
 - 気候変動とつきあう（～10/30）
 - いろんな図鑑！紹介します。（10/10～10/24）
 - 「手塚治虫 ブラックジャック展」長崎県美術館連動展示（10/26～）
- YA特集展示 おいしい本
- YA投稿展示 写真にひとこと！おもしろ大喜利
- 児童特集展示 秋いっぱいみつけた♪いろんな秋みつけた♪（10/2～）
- 児童ミニ展示 フルーツ もりもり（10/2～）
- 児童特別展示 TSUNAGARU・HONDANA 童話館出版×長崎市立図書館
『ぞうさんのほんだな』童話館出版編集部メンバーおすすめテーマ別編
Vol.6（～10/27）、Vol.7（10/30～）



イベント

長崎県よろず支援拠点×長崎市立図書館
ビジネスセミナー

「資格を取って起業する！ リアルな起業を学ぶセミナー」

起業に興味のある方向けに、先輩起業家がリアルな起業体験をお話します。グループに分かれての座談会もあります。

10月17日(木) 14:00～15:30 (開場13:30)

会場：新興善メモリアルホール

定員：30名

申込方法：メール

バリアフリー！みんなの上映会 2024

「じんじん」

申込不要

視覚や聴覚に障がいがある方も一緒に鑑賞できるバリアフリー映画を上映します。日本語字幕付きで、動作や情景などを伝える音声流れます。

11月3日(日・祝) 14:00～16:30 (開場13:30)

会場：多目的ホール

定員：100名 車いす優先席あり

※誘導が必要な方は、図書館の最寄りのバス停、電停までスタッフが迎えに行きます。事前に電話でお申込みください。

開館状況やイベントの詳細・開催状況は、図書館のホームページ・SNS・館内ポスターをご確認ください。

BOOKS：長崎を、知る。



修学旅行で訪れる学生や国内外からの観光客も多い、私たちのまち長崎。市立図書館の周りにも、歴史を感じられる史跡や著名人ゆかりの地があります。読んで、調べて、訪れて。本を片手に長崎の魅力を再発見してみませんか。



長崎の教科書
JTBパブリッシング
2024年刊
T291.93ナ
(1階旅)ほか

歴史、文化、自然など多方面から長崎を知ることができる大人の教科書。身近なところに知らない長崎が隠れているかも。



天主堂二人の工匠
小山秀之進と鉄川与助
示車 右甫/著
海鳥社
2016年刊
913.6ジシ
(1階日本現代)ほか

大浦天主堂やグラバー邸を建設した小山秀之進、浦上天主堂など多くの天主堂を手がけた鉄川与助。日本の文化遺産に携わったふたりの建築家が、いかにして偉業を成し遂げていったのかを辿る歴史物語。



ふうけもん
ながさき明治列伝
増永 驍/著
長崎文献社
2008年刊
913.6マス
(1階日本現代)ほか

日本活版印刷の父と言われる本木昌造、実業家・政治家の松田源五郎、医者・教育者・ジャーナリストでもある西道仙。維新前夜から明治の長崎を舞台に、“ふうけもん”たちの活躍を描く。



犯科帳
長崎奉行の記録
森永 種夫/著
岩波書店
1962年刊
N322.1モ(4階書庫)ほか



犯科帳とは、1666年から1867年までの約200年にわたる長崎奉行所の判決記録のこと。本書は長崎県立図書館の職員であった著者がピックアップした事件を翻訳、解説したもの。貿易港ならではの犯罪や恋愛のもつれなど、長崎庶民の生活の実態がうかがい知れる。



阿蘭陀通詞
片桐 一男/著
講談社
2021年刊
B210.5カ(1階文庫)ほか



鎖国下の長崎・出島で異文化交流を支えたオランダ語の通訳官「阿蘭陀通詞」たちはどのように語学を習得し、どのような生活を送っていたのか。膨大な資料をもとに紐解いていく。歴代通詞の紹介として、郷土の偉人・本木昌造の解説もあり。



長崎の昔ばなし 第1集
近藤 祐一/話 島本 芳伸/画
竹下隆文堂
出版年不明
ナ388コ(長崎資料)ほか



長崎の昔ばなし 第2集
河野 伸枝/話 福居 顕則/画
竹下隆文堂
出版年不明
ナ388コ(長崎資料)ほか



長崎の昔ばなし 第3集
河野 伸枝/話 有吉 弘行/画
竹下隆文堂
出版年不明
ナ388コ(長崎資料)ほか



長崎の昔ばなし 第4集
河合 隆司/話 福居 顕則/画
竹下隆文堂
出版年不明
N388.1カ4(2階地域)館内閲覧のみ

長崎の昔ばなし集。第1集には「産女のゆうれい」第2集には「ピントコ坂」第3集には「日見峠の狐」第4集には「伊王島と俊寛僧都」などが掲載されています。長崎市のほか、県内の昔ばなしも収録。



長崎市立図書館
NAGASAKI CITY LIBRARY